

◎ 本日の卓話 9月15日(火)

「岩倉流の歴史と現在」

岩倉流12代宗家
那須賢二さん

◎ 次週の卓話 9月29日(火)

「和歌山の文化遺産：有吉佐和子」

和歌山大学 教授
デンニツアさん

◎ 先週の例会記録

- ✳ロータリーソング 我等の生業
- ✳ビジュター紹介 なし
- ✳出席報告 (会員数78名、免除会員3名) 本日出席(9/8) 54名 72.00%
- ✳メイキャップ ラーニングファシリテーターセミナーへ1名、和アゼリアへ9名
- ✳S. A. A. (ニコニコ箱) 林 俊行さん、中谷友紀さん、秦 崇さん、西岡千博さん、野志幸生さん、中野智一さん、山本雄太さん、名手孝和さん、慈幸信治さん

本日合計 ￥27,000 今年度累計額 ￥546,000

(財団寄付献金箱) 林 俊行さん、中谷友紀さん、秦 崇さん、西岡千博さん、野志幸生さん

(米山奨学会献金箱) 林 俊行さん、中谷友紀さん、秦 崇さん、西岡千博さん、川崎 悟さん

(青少年育成奨励金) 林 俊行さん、中谷友紀さん、秦 崇さん、西岡千博さん、野志幸生さん

◎ 会長あいさつ

会長 林 俊行



9月4日18時から放映された「わから部」に出演いたしました。前日夜、IM講師をお願いしている越前屋俵太さんから「和歌山の温泉PRに出てほしい」と突然のお電話をいただき、喜んでお引き受けしました。当

日まで番組名も知らされず、待合室で「これから生放送です。アフロのかつらとサングラスを着け、温泉PRパネルを掲げてアフロで『ワンダフロー！』と叫んでください」との指示。以前にもこの格好で撮影したことはありましたが、生放送とは想定外でした。さらに紹介は「クリスタルキングの方」。覚悟を決めて「クリスタルキングです！」と答え、その後は「ワンダフロー！」を連呼。トライアスロンのスイムスタートにも負けない緊張感でしたが、和歌山の温泉をPRする貴重な機会となりました。

幹事報告

- 例会変更のお知らせ (粉河RC)
- 配布：バギオだより (2026年9月号)
- 回覧：ロータリーマガジン (9月号)

木潮会(和歌山編集責任者会)との懇親会に参加

2026年9月8日(火) 18:30～
於：ダイワロイネットホテル和歌山4F



林会長、中谷幹事、村田雑誌・広報委員長が参加



誕生日お祝い

委員会報告

環境保全・社会奉仕委員会

岩西 智宏 委員長

熊本地震被害支援金協力をお願い



和歌山RCアスリートクラブ

河村 秀樹 会員

「第10回 わかやまりレーマラソン
～パンダRUN～」のご案内



卓話

「不登校の現状とフリースクールの取り組み」

つくるがっこう イホルラ舎

共同代表 柴田 政治 さん

共同代表 柴田 香織 さん



今回は、不登校の現状と、私たちが橋本市で運営するフリースクール「つくるがっこう イホルラ舎」についてお話しします。

不登校は今や決して珍しいことではありません。文部科学省の調査では、全国の小中学生の不登校は約35万人、約4%に上ります。中学生では約17人に1人という割合です。行き渋りや保健室登校などを含めれば、さらに多くのこどもたちが学校生活に困難を感じています。

その背景には、「集団が苦手」「大きな音や人混みが苦手」「一律に同じことをすることがしんどい」など、一人ひとりの性格や特性と学校の環境とのミスマッチがあります。私たちは、不登校そのもの以上に、「学校に行けないこどもや、その家族に問題がある」と捉えてしまう社会が、こどもたちを苦しめていると感じています。

そこで、多様な学びの場の一つとしてフリースクールがあります。イホルラ舎は2021年に橋本市で設立し、小学生から高校生を対象に週4日開校しています。勉強だけでなく、ものづくり、遊び、体験活動など、それぞれが自分で過ごし方を決めます。

大切にしているのは「自己決定」「多様性」「対話」です。こども自身が選び、失敗も含めた経験を重ね、対話しながらお互いの違いを認めていく。その中で、こどもたちは少しずつ自分を取り戻していきます。私たちは学校復帰そのものを目標にはしていませんが、元気を取り戻し、結果として学校に戻っていく子も多くいます。

今後はフリースクールにとどまらず、こどももおとなも学び、交流できる「まちのがっこう」へと活動を広げたいと考えています。

一方、フリースクールには公的な補助がなく、継続的な運営は容易ではありません。不登校のこどもが増える一方で、多様な学びの場はまだ十分ではありません。地域のこどもたちの学びと成長を支える場を残していくためにも、皆さまのご理解とご支援をいただければ幸いです。



(左から)紹介者の中野出席・プログラム委員長、ゲスト 柴田香織さん、柴田政治さん、林会長